

# カレッジ通信

編集・発行  
東京建築カレッジ

授業見学  
大歓迎!

TEL 03  
(5950)  
1771

## 「四方転び踏み台」に挑戦する青春 精度と美しさ 競う



豊島さんは東京建築カレッジ卒業生の建築大工です。江戸川区の国工務店で働いています(東京土建江東支部)。



在校生2年生(第26期生)の坂本頼生さん(上写真左)、渡辺勇次さん(同右)も出場しました。日曜日の講習会にも自主参加して練習を重ねました。

「四方転び踏み台」を競技課題とする全建総連 全国青年技能競技大会の東京予選(同東京都連第36回青年技能競技大会)が8月21日(日)、多摩職業能力開発センター府中校で開催され、本校第17期生の豊島(とよしま)正貴さんがグランプリ(最高位)の金賞(東京都知事賞)を受賞しました。出場選手は10人でした。

同大会には第23期生の関根祥智(よしのり)さんも出場し銅賞を受賞しました。豊島さんと関根さんは、9月17日、19日に群馬県高崎市「Gメッセ群馬 展示ホール」で行われる「全建総連第38回全国青年技能競技大会」に出場し、全国トップをめざします。

東京建築カレッジは、大工職の専門養成校ではありませんが、日本における建築の基本は木造にあり、そのエッセンス(本質、真髄)は伝統的な大工技術から学ぶことができます、という考え方で、道具・手刻みによ



る大工技術学習を実技実習の中心に位置付けています。本校入学をきっかけにその魅力を知り、精度と美しさを競う競技大会に挑戦する研修生・卒業生は少なくありません。新築ではプレカット材がほとんどを占める今、材料の見極めや墨付け、手刻みができる技能者育成の貴重な機会となっております。

本校母体の東京土建一般労働組合が加盟する全国建設労働組合総連合(全建総連)では「青年技能者に努力目標を与えると共に、技能尊重機運の醸成を図る」を目的に1985年から毎年開催してきました。

## 技能五輪と青年技能競技大会

東京建築カレッジの研修生・卒業生が、学び体得した大工技術・技能の高さを試す挑戦目標として、2つの競技大会があります。厚生労働省と中央職業能力開発協会が主催する「技能五輪全国大会」と、東京土建が加盟する全建総連主催の「全国青年技能競技大会」です。

今年の技能五輪大会は11月4~7日、千葉県「幕

張メッセ」で開催されます。今回は在校生、卒業生の出場はありませんが、23歳以下の技能者の日本一を決める五輪大会の見ごたえは十分。一般観戦の規模はまだ公表されていませんが、可能な場合は見学をお勧めします。

なお、本校のホームページでは、2つの競技大会の入賞者を公開しています。ぜひ、ご覧ください。

ご連絡いただければ、ポスター・チラシをお送りします。東京建築カレッジのホームページ、SNSの情報拡散もよろしく願います。

Tokyo Architecture College  
東京建築カレッジ  
第23回 公開講座  
Makoto LIFE ONLINE  
2022 10.30日  
13:00~16:30  
YouTube LIVE | 参加無料

第1部 | 高田清洋  
「四川一歳の市場」の夢  
設計と建築家  
井上淳治 林義孝

第2部 | クロストーク  
日本の建築家と学生少人数  
建築の仕事をつくるには  
建築・大工・大工の第一歩で建築士の  
仕事とは

公開講座の宣伝にご協力ください

公開講座ポスター。チラシ(A4)もあります

# 柱と梁で構造を軸組み実習

## 1年生の授業から

木造建築の方法にはいくつもあります。が、垂直材の柱と横架材の梁(はり)を組み上げて構造をつくる方法(木造軸組工法)が日本では主

流です。カレッジでは、継手や仕口の加工を一通り習った後に、8月下旬から9月にかけて小屋づくりに挑戦します。柱や梁などの位置を示す平面図(伏図)を「板図」(いたず)に落とし込むところから授業は始まりま

す。建物の基本構造を図面でしっかり理

解した後に、班に分かれて、材料の墨付け・加工、そして建方、と進み、木造軸組工法の流れを体感します。

この小屋づくりで流れをつかみ、前期の1年生が建てた2階建ての実習棟の解体実習(10月8・15日)の後、いよいよ実習棟実習に入っていきます。

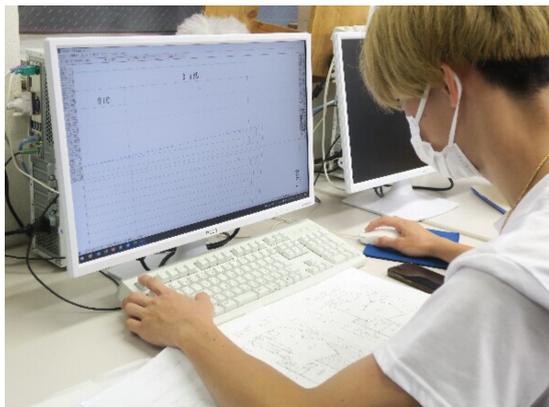


班ごとに軸組み構造の小屋をつくる授業です。(江東実習場、8月27日)

## 2年生の授業から

2年生の情報授業では、1年次に教わったCAD(コンピュータ支援設計)の使い方を思い出し

ながら、平面詳細図を書く練習をしています。「桜井邸」と呼ぶ共通課題で100分の1の図面を全員が作成した後に、住宅設計の授業で各自が自由設計したプランの平面詳細図を書いていきます。設計製図や建築設備の授業と連携しながら、CAD操作技術を習得させます。「CADの使い方にとどまらない、現場の実務で役立つ内容を心掛けています」と担当講師。



CADと設計、設備の3科目で連携、教育効果を上げています。(池袋校舎、8月26日)

# CADで「平面詳細図」を作成

## 仲間との出会いが待っています!

### 第28期生(来年4月入学生)募集中

本校の講師・指導員が実技実習と設計製図それぞれの授業の流れを説明するオープンキャンパスを10月16日(日)、江東実習場で行います。

午前の部は9時30分から、午後の部は1時30分から。東京建築カレッジに通える就職先の紹介も行います。ぜひご参加ください。

学校紹介、募集要項はこちら↓



通常の授業日の見学も大歓迎です。お気軽にご連絡ください。東京土建技術研修センター内、東京建築カレッジ、電話03・5950・1771

## ジャーナリスト 志葉玲さんの特別授業

### 今、ウクライナで起きていること

東京建築カレッジは、広く世界と人間を見つめて自主的に行動できる建築従事者の育成をめざしています。この観点から教養科目を充実させています。

8月26日の1年生「建築社会論」では、今年4月10日からウクライナに入り現地取材を行ったジャーナリストの志葉玲さんが、民間人を巻き込んで進行するロシアのウクライナ侵略の実態を写真や動画を見せながら報告しました。



「当局の会見よりも自力による被害者インタビューを重視してきた」と話す志葉さんの話は臨場感に溢れると共に、ウクライナ問題の解説もわかりやすく、カレッジ生は集中して聞き入っていました。